

8月の植物

トラノオスズカケ (オオバコ科)

学名 : *Veronicastrum axillare*

トラノオスズカケとの出会いは柏岳（武雄市）登山の途中である。春まだ早い時期に常緑樹林下につる状の常緑の草本があった。なんだろう？ 思いついたのはトラノオスズカケ。名前が面白いのでとっさに頭に浮かんだ。花が咲くのを楽しみに何回も嬉野市の自生地に足を運び、8月下旬に写真に撮ることができた。佐賀県植物目録には「伊万里市，西有田町など県西部に稍稀に分布する」とあるが，なかなか目にすることはない。佐賀県レッドリスト2020年の改定でランク外から絶滅危惧Ⅱ類種にランクアップされた。手元の野草図鑑⑦（保育社）には「暖地の林内にはえる多年草。茎の長さは長く斜めに立ち上がり蔓のように伸びる。垂れた茎先が地面につくと根を出し新しい株となる。葉が互生し，細かい鋸歯があり，葉質は厚くほとんど無毛で表面は艶がある。裏面は紫色に染まることが多い。葉のわきに円錐状の花穂をつけ，紫色の多くの花が隙間なくつく。分布は四国，九州，花期は8～10月。」とある。

（写真・文 井手義信）



2022.8.23 塩田町